

福山市道路位置指定基準

1. 接続道路

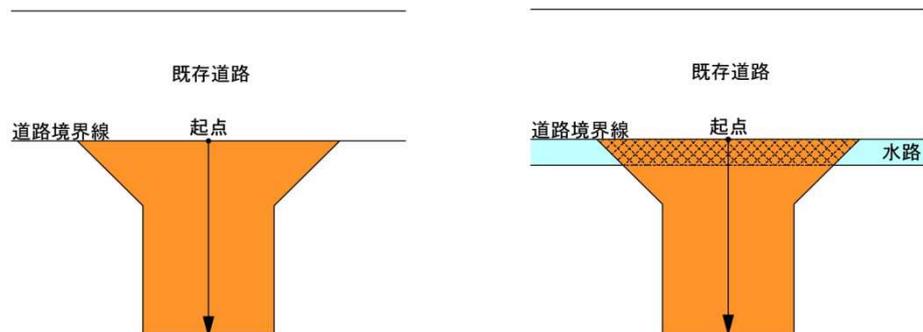
位置の指定を受けようとする道路（以下「指定道路」という。）は、原則として両端が既存の法第42条第1項又は第2項に規定する道路（以下「既存道路」という。）に接続していなければならない。（令第144条の4第1項）



2. 起点

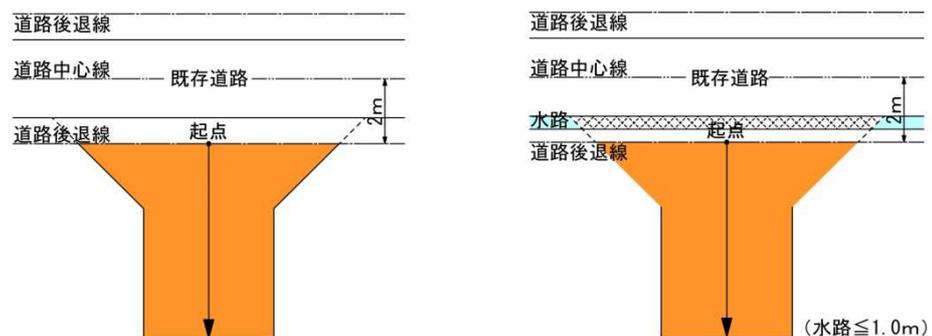
指定道路の起点は、接続する既存道路の道路境界線とする。

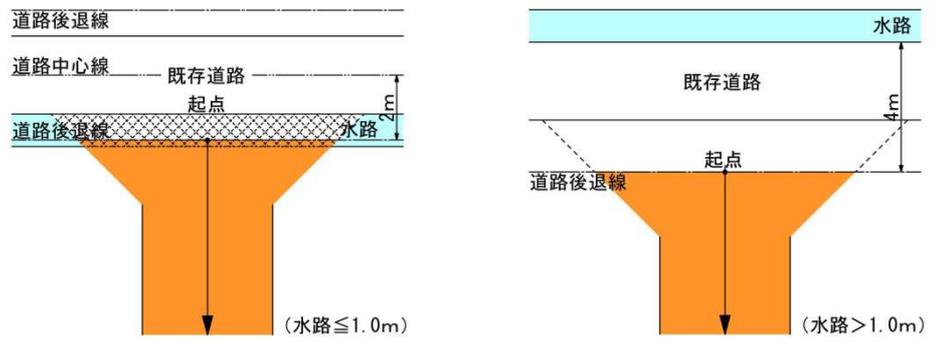
(1) 接続する道路の幅員が4メートル以上の場合



(2) 接続する道路が法第42条第2項に規定する道路の場合

（道路中心線は基準時幅員の中心線である。基準時以降の後退による道路拡幅が行われている場合があるため、公図や建築計画概要書等により基準時幅員を調査する必要がある。）

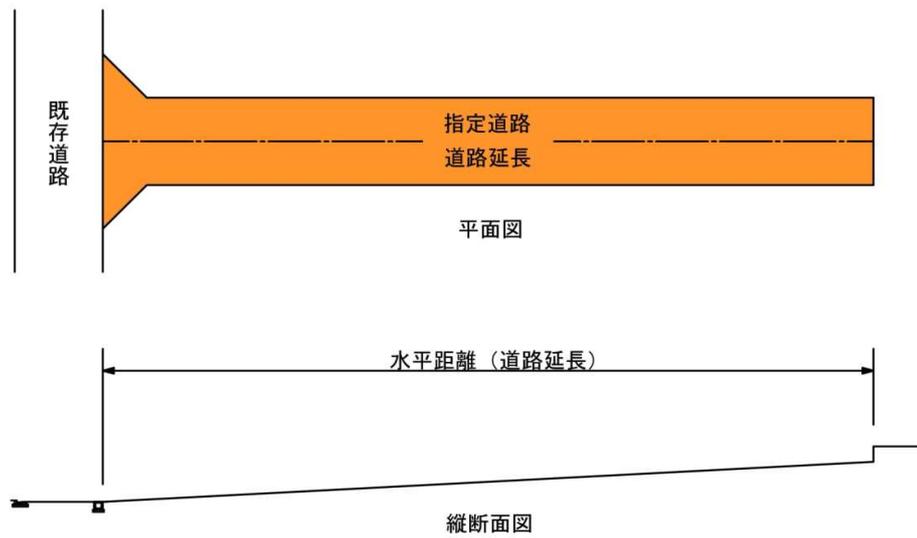




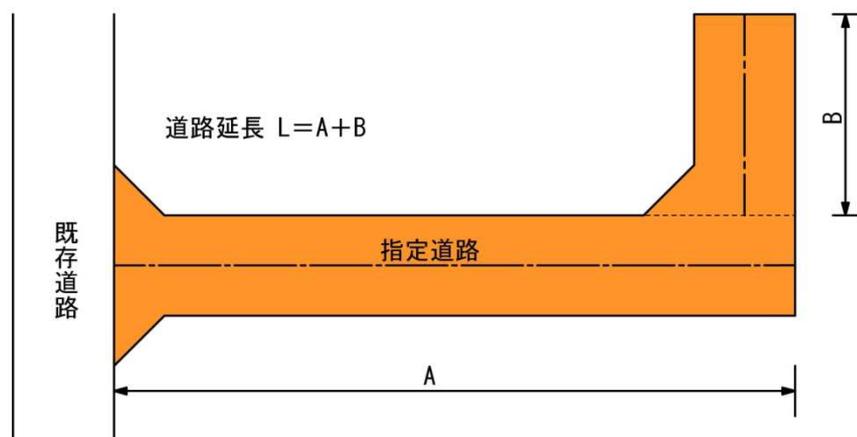
3. 延長

指定道路の延長は、道路中心線によって測り、水平距離とする。

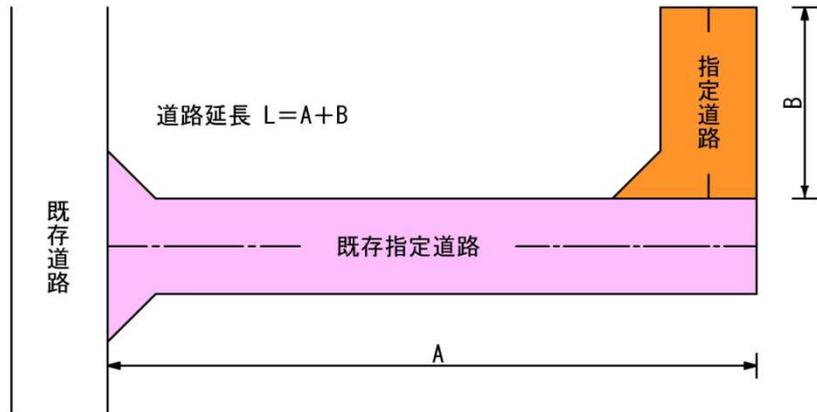
(1) 基本形態



(2) 道路に折れ曲がりがある場合



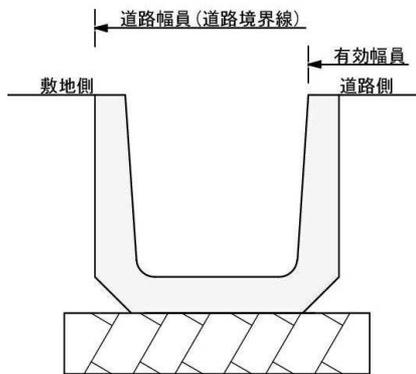
(3) 既存の袋路状の指定道路に接続する場合



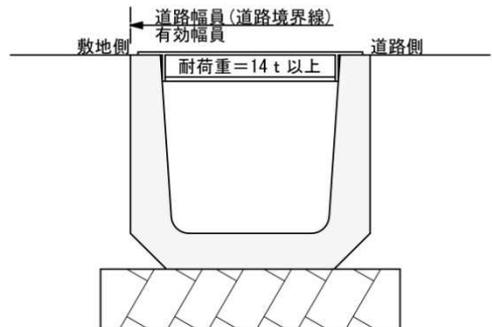
4. 幅員

指定道路の幅員には側溝等の構造物を含む。ただし、有効幅員は4メートル以上あることが必要で、その測り方については、次の図を参考にする。

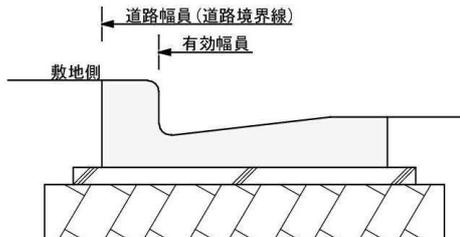
(1) U字側溝（蓋なし）の場合



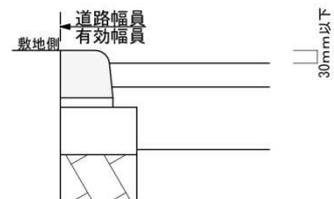
(2) U字側溝（蓋かけ耐荷重14 t以上）の場合



(3) L型側溝の場合

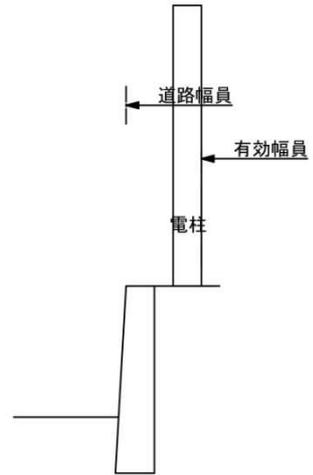
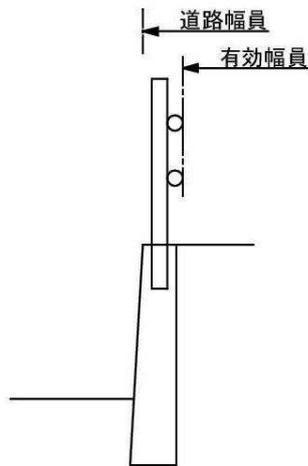


(4) 縁石ブロックの場合



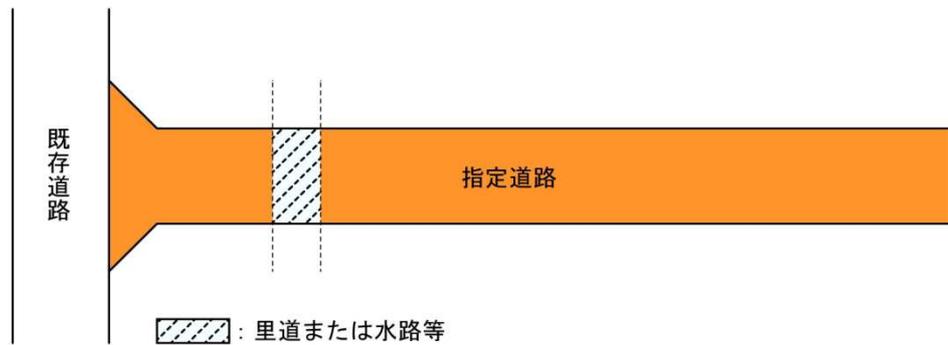
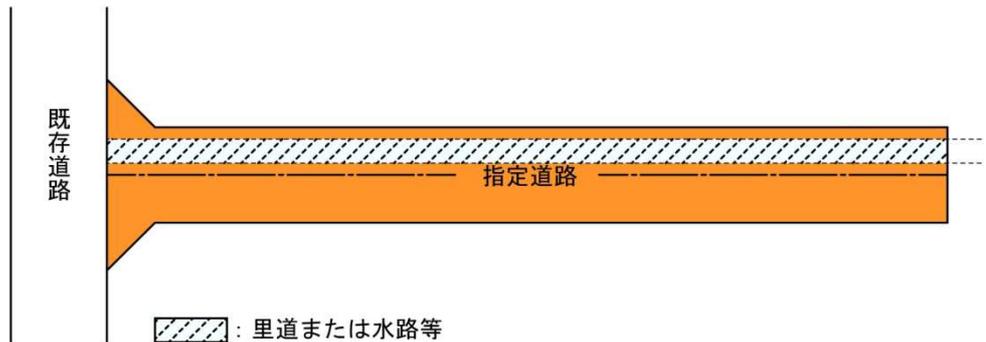
(5) 転落防止柵設置の場合

(6) 電柱設置の場合



5. 指定道路に
里道または
水路等を含
む場合

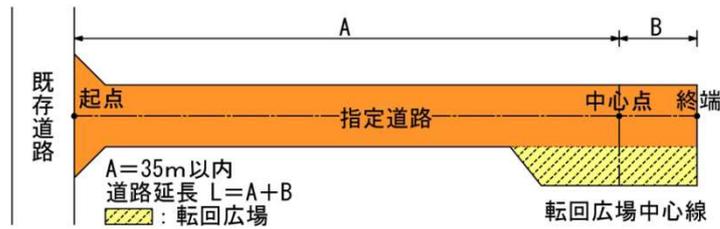
里道または水路等の管理者から占用許可、改築許可を受けた場合は、当該部分を指定道路に含めることができるものとする。



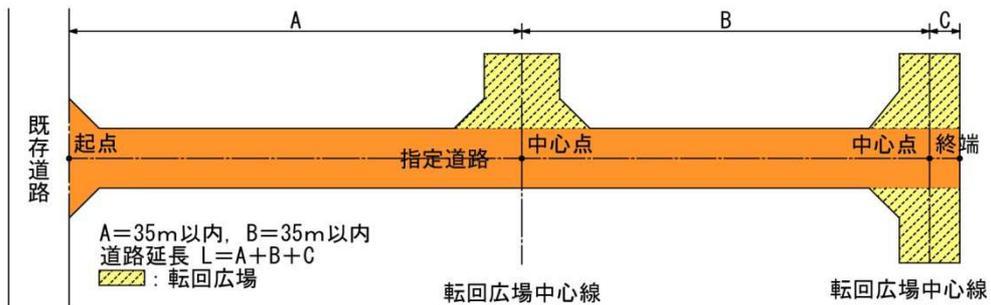
6. 転回広場

指定道路の延長が35メートルを超える場合（両端が既存道路に接続するときを除く），終端及び区間35メートル以内ごとに転回広場を設けることが必要である。区間の算定は，接続する道路を起点に道路の中心線によって測った距離とする。

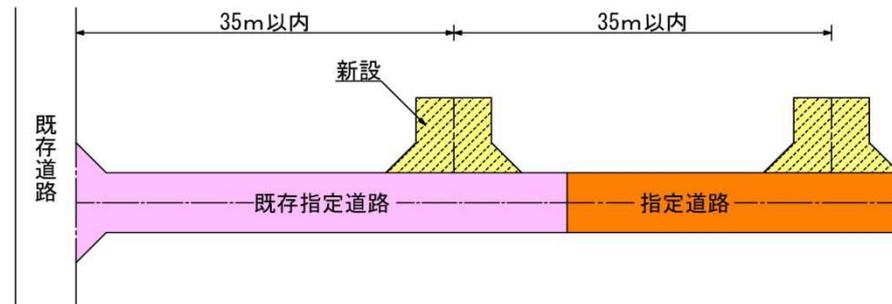
(1) 終端に転回広場を設ける場合



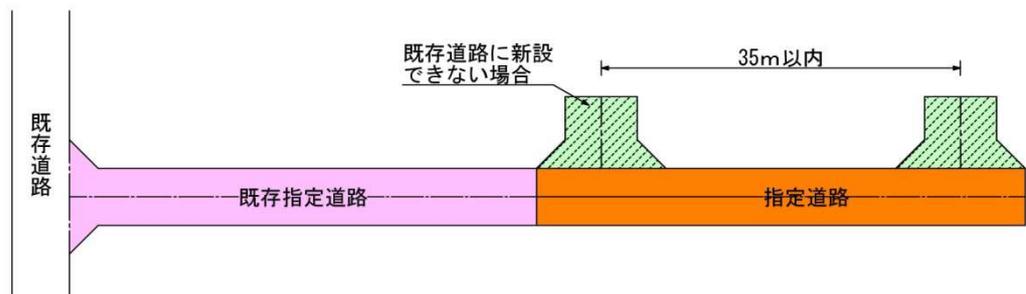
(2) 終端及び区間に転回広場を設ける場合



(3) 既存の指定道路に接続する場合で，当該既存指定道路に転回広場を設ける場合



なお，当該既存指定道路に転回広場を設けることが困難であると認められる場合は，当該既存指定道路に最も近いところに設けることができる。

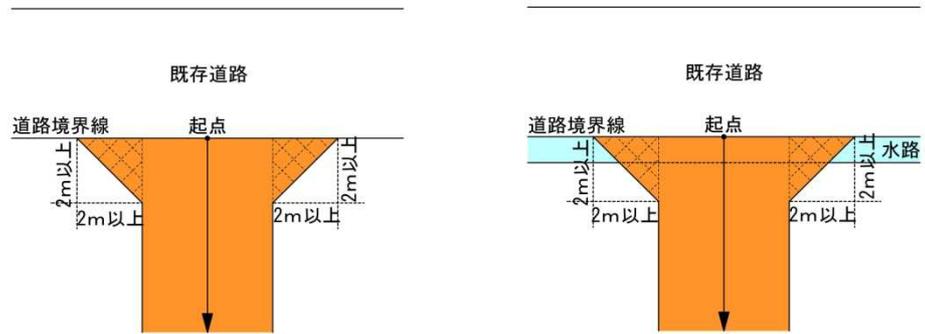


7. すみ切りの基準（内角が120度以上の場合を除く）

指定道路が既存道路と交差し、若しくは接続し、又は屈曲する箇所においては、接続する箇所及び屈曲する箇所においては、一辺の長さ2メートル以上の二等辺三角形のすみ切りを指定道路の一部として設けなければならない。（令第144条の4第1項第二号）

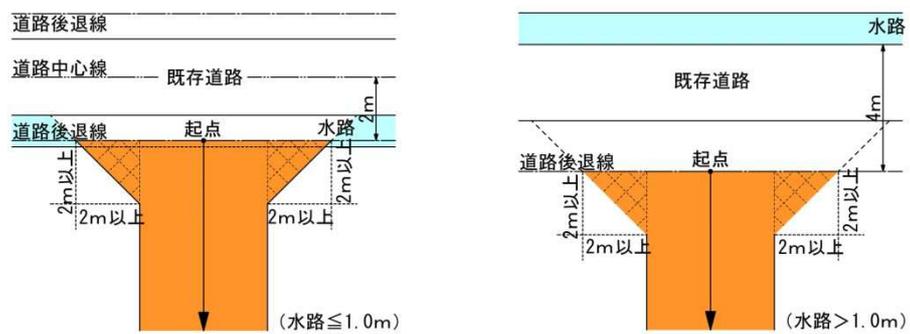
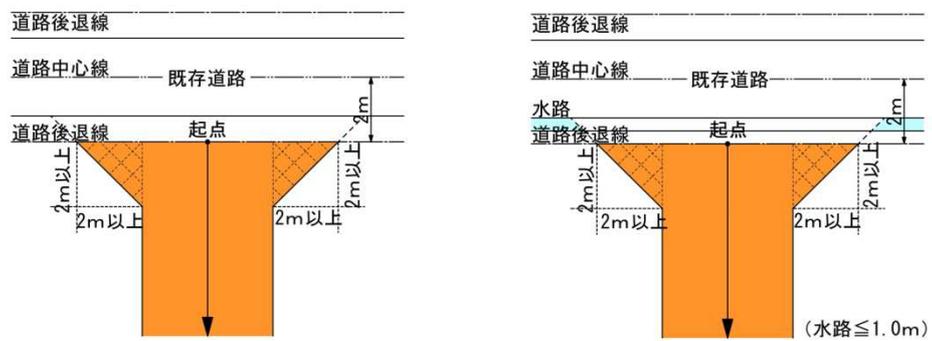
(1) 基本形態

(ア) 接続する道路の幅員が4メートル以上の場合

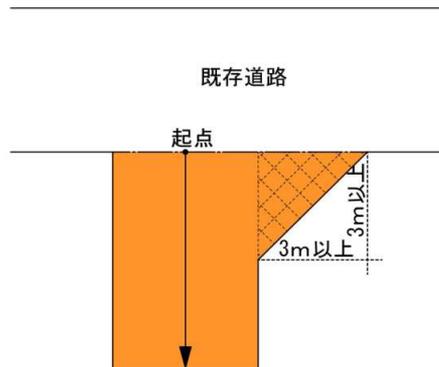


(イ) 接続する道路が法第42条第2項に規定する道路の場合

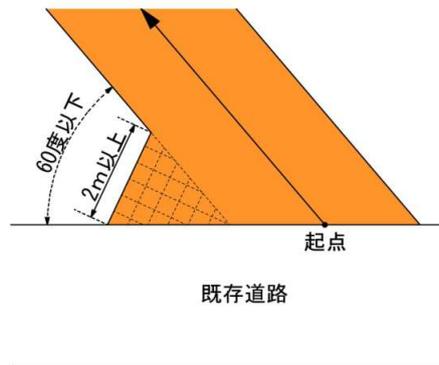
（道路中心線は基準時幅員の中心線である。基準時以降の後退による道路拡幅が行われている場合があるため、公図や建築計画概要書等により基準時幅員を調査する必要がある。）



(2) 周囲の状況により、両側にすみ切りを設けることが困難な場合
一方に一边の長さ3メートル以上の二等辺三角形のすみ切りを設けること。



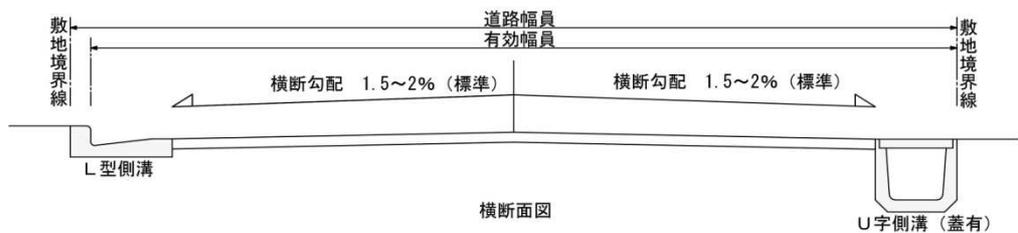
(3) その他の場合
交差部分が内角60度以下で接続する部分においては、角地の隅角を頂点とする底辺の長さが2メートル以上の二等辺三角形のすみ切りを設けること。



8. 構造

指定道路の構造は次のとおりとする。

- (1) 砂利敷その他ぬかるみとならない構造とする。ただし、舗装とすることが望ましい。
- (2) 縦断勾配は1.2%以下とする。
- (3) 横断勾配は、1.5~2%を標準とする。



- (4) 指定道路が周囲の土地より高い場合は、原則としてガードレール等の安全施設を設ける。

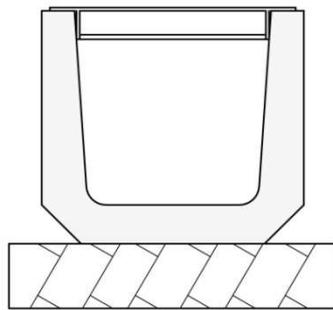
- (5) 架台（人工地盤）等により構築された構造でないこと。
- (6) 側溝は指定道路の既存道路及び敷地側に設けること。ただし、道及びこれに接する敷地内の排水が有効に排水できる構造の場合はこの限りでない。また、側溝の末端部分には泥溜め深さ150mm以上の排水枳を設ける。排水施設の基準は次のとおりとする。

(ア) U型側溝，L型側溝

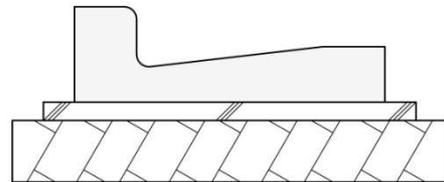
コンクリート製で次の図を標準とし、これと同等以上の構造とする。

(広島県制定「土木構造物標準設計」に準ずること)

- ・コンクリート2次製品の場合

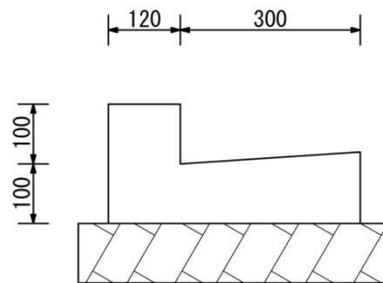
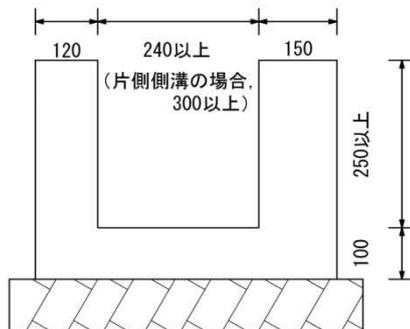


U型側溝 (JIS A 5345)
2種250以上とする

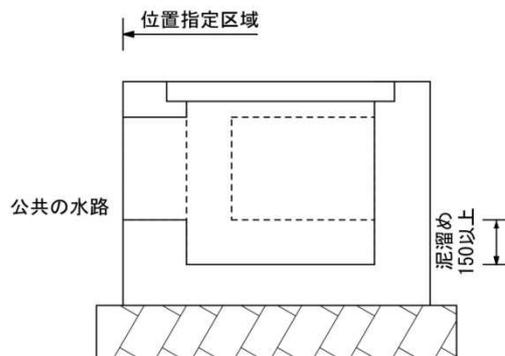


U型側溝 (JIS A 5345)
RC250A以上とする

- ・現場打設の場合



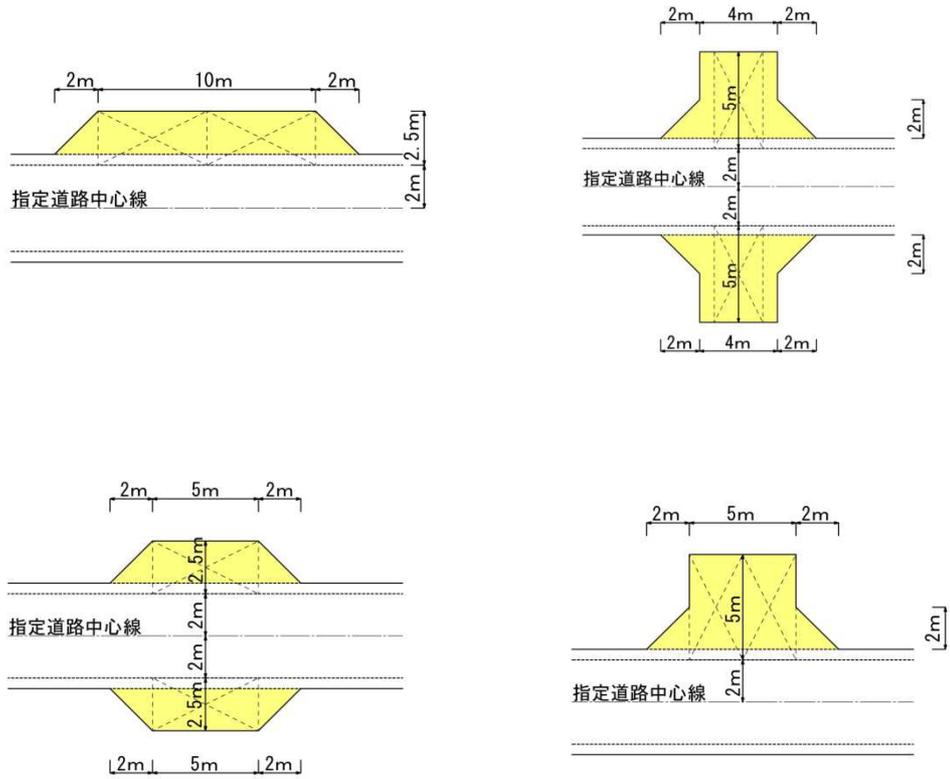
(イ) 排水枳



9. 転回広場の
の形状

転回広場として標準的なもの

(1) 中間に設けるもの



(2) 終端に設けるもの



